

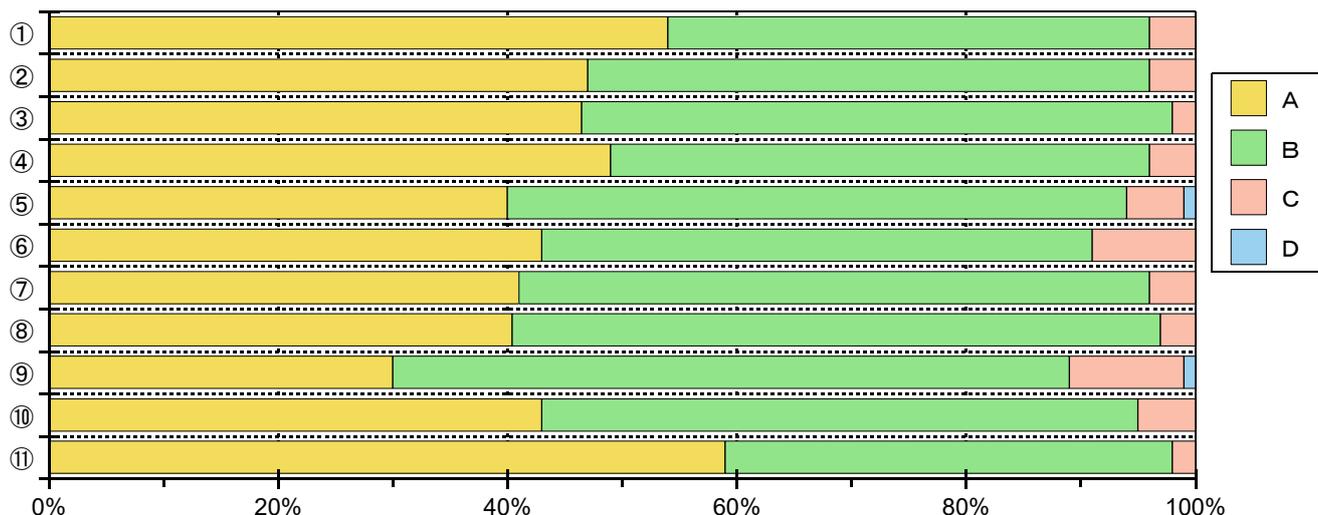
平成28年度前期 学校教育に関するアンケート集計結果（保護者）

評価について（A B C D）			
A…よくあてはまる	B…だいたいあてはまる		
C…あまりあてはまらない	D…あてはまらない		

I 学校の教育活動や様子について

単位：%

No.	設 問 内 容	A	B	C	D
①	学校は、保健指導や食べることについての指導を進めている。	54	42	4	0
②	学校は、体力向上のための指導を進めている。	47	49	4	0
③	学校は、子ども自らが命や身体を守る力育てるための安全指導を進めている。	46	51	2	0
④	学校は、基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い等）を身につけさせるための指導を進めている。	49	47	4	0
⑤	学校は、命の大切さについて考えさせる指導を進めている。	40	54	5	1
⑥	学校は、岩根地区の「よさ」を学ぶことができる指導を進めている。	43	48	9	0
⑦	学校は、よりよい人間関係を育むための指導を進めている。	41	55	4	0
⑧	学校は、「わかる・できる」授業を進めている。	40	56	3	0
⑨	学校は、表現力を高めるための指導を進めている。	30	59	10	1
⑩	学校は、読書への興味を持たせ、たくさんの本を読ませるための指導を進めている。	43	52	5	0
⑪	学校は、学校便りやホームページ等により情報発信を積極的に進めている。	59	39	2	0



<考察>

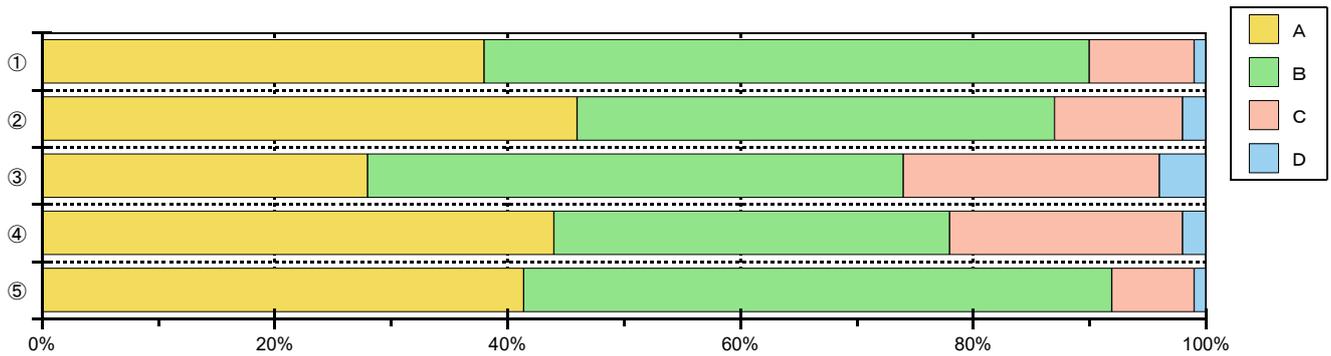
- ①～⑪の項目全てにわたってA、Bの割合が80%を越しており、保護者の皆様に学校の指導方針について一定の理解をしていただいていることが分かりました。ありがとうございました。また、昨年度よりもAの割合が増え、CやDの割合が減っていました。Aの割合をもっと増やせるようさらに努力していきます。
- 今後も、生活科、総合的な学習の時間や道徳の時間を活用して「ふるさと教育」に取り組み、岩根のよさを認識させ、自主的に関わっていくようにしていきます。

II 子どもの姿について

1 教育目標「生き生きと心身ともに強く健康な子」（体育）について

単位：%

No.	設 問 内 容	A	B	C	D
①	お子さんは、健康（さわやかチェック・手洗い等）に気をつけた生活をしている。	38	52	9	1
②	お子さんは、いつも「早寝、早起き、朝ご飯」を行っている	46	41	11	2
③	お子さんは、好き嫌いをしないで食事をしている	28	46	22	4
④	お子さんは、進んで運動をしている	44	34	20	2
⑤	お子さんは、安全に気をつけた生活をしている。	41	50	7	1



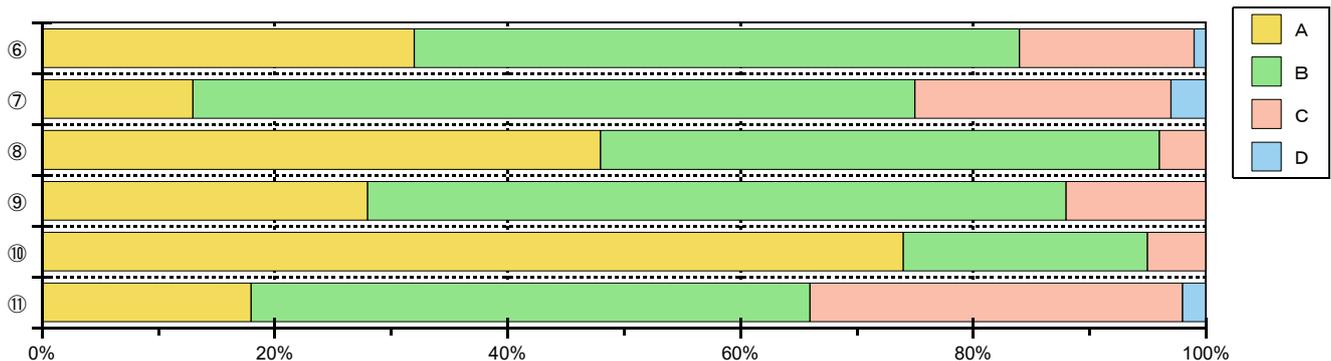
<考察>

- ③と④で80%を少し下回りましたが、昨年度よりもわずかながら数値は向上しています。
- 本校は、食育に力をいれており、各学年の年間の学習に計画的に組み込まれています。好き嫌いをなくすことは時間がかかるものです。努力を続けることが大事ですので、諦めないで家庭と学校で指導していきましょう。
- 身体づくりプログラムを積極的に実践する等、体育の授業等での運動量の確保に努めてきました。児童数と比較してあまりにも校庭が狭く、安全のため休み時間の運動を制限せざるを得ない時があるのも事実です。今年度から、休み時間にも体育館を使って遊べるようにしたり、冬の期間にも特設部活動として「スポーツクラブ」を新設したりして、体力向上に取り組んでいます。

2 教育目標「分かち合い、思いやりを実行する子」(徳育)

単位：%

No.	設 問 内 容	A	B	C	D
⑥	お子さんは、進んであいさつをしている。	32	52	15	1
⑦	お子さんは、いつも正しい言葉遣いをして生活している。	13	62	22	3
⑧	お子さんは、友達や他の学年の子と協力しながら仲良く生活している	48	48	4	0
⑨	お子さんは、学校生活や学級生活をよりよくするために役立つ仕事をしている。	28	60	12	0
⑩	お子さんは、仲のよい友達がいる。	74	21	5	0
⑪	お子さんは、岩根地区の「よさ」を知っている。	18	48	32	2



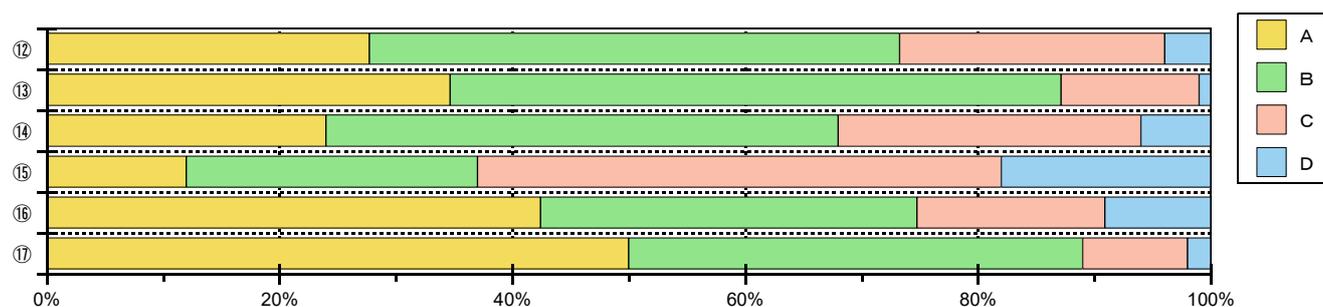
<考察>

- 「あいさつ日本一」を目指して、6年生を中心にあいさつ運動に取り組んできましたが、「進んで」というところまで達成できていないのが現状です。ぜひ習慣として身につくよう、家庭や地域、学校等で連携して指導していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。具体的な方策等よいアイデアがありましたらお知らせください。
- 「岩根地区のよさを理解していること」について、学校では指導しているが、なかなか子どもに定着していないという印象が強いです。「ふるさと教育」等の成果が表れるよう指導に努めていきます。
- 児童の言葉遣いの乱れは、メディアの影響によるものがほとんどです。言葉の真意も分からずに何気なく使っている場合が多いと考えます。学校と家庭とで連携し、改善を図る必要があります。

### 3 教育目標「ねばり強く考え、気力を持って学ぶ子」(知育)

単位：%

No.	設 問 内 容	A	B	C	D
⑫	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	28	46	23	4
⑬	お子さんは、「授業が分かる」と言っている。	35	53	12	1
⑭	お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいる。	24	44	26	6
⑮	お子さんは、たくさんの本（漫画・雑誌を除く）を読んでいる。	12	25	45	18
⑯	お子さんは、将来の夢を持っている。	42	32	16	9
⑰	お子さんは、「学校が好き」と言っている。	50	39	9	2



#### <考察>

- 日頃どの学級でも授業を大切にし、児童は落ち着いて学習に取り組んでいます。現在も基礎学力の定着と考える力や表現力の育成のために、全職員で授業実践を積み重ねているところです。
- 家庭学習への取り組みが昨年度の結果よりだいぶ悪くなっています。本校では、「学年×10分＋10分」家庭学習をする約束になっています。学校と家庭の連携を強めていく必要があります。
- 読書についてA、Bの割合が37%になっており、昨年度と横ばい状態です。学校では、今年も朝の読書活動、読み聞かせ、ブックトークなど様々な読書に関する活動を行っていますし、移動図書館など本人がその気になればたくさんの本に親しむ機会を持つことも出来ます。また、子どもたちは、メディア（インターネット、ゲーム等）にふれる時間が増加しており、それが読書離れにつながっている可能性もあります。メディアコントロール運動を推進していきましょう。
- 学校では、「夢を持ちその実現のために日々努力すること」はとても大切なことととらえています。今後も指導に努めていきますので、家庭学習への取り組みなどを示した「本宮二中学区スタイル」を達成できるようご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。